



りーどぼらんていあキッズ 活動実績報告 第2回研修会「魚の水揚げ・選別支援」

7月24日に第2回研修会「魚の水揚げ・選別支援活動」を遠賀漁業協同組合芦屋支所に協力をいただき、保護者も参加しての交流事業として実施しました。

研修は漁業の仕事を理解し、地球温暖化など漁業への影響を学ぶとともに、環境を守ることの大切さや、水産物が生み出す恵みを大切にする心を養うことをテーマに実施しました。

最初に、中西隆雄副組合長から芦屋町の漁業について、自らの体験も交えた詳しい話をしてもらい、みんなで興味深く、楽しく学びました。



講話の後、選別所へ移動し、漁師の中西政次さんご家族のご指導のもと、いよみんなが待ち望んだ選別作業を体験しました。船倉から選別所に次々に流れてくるタイやイトヨリ、カマス、ヒラアジなど大小色とりどりの魚を目の当たりにして、みんなとても感動し、あちらこちらから歓声が上がって、大喜びでした。魚にはトゲがあるため、手袋をつけて慎重に大切に、魚種、サイズ別に選別しました。次に、トロ箱の運搬、ラップかけ、氷かけを行いました。中には、魚に触れることが初めてなのか、最初は躊躇ちゅうちゅうしているキッズもいましたが、保護者に励まされながら元気に作業を行いました。



今回の研修では、たくさんの魚を獲ってきていただいたおかげで、みんな楽しく活動することができました。また、体験を通して、漁師の苦労や喜びを知ることができ、漁業に対し親近感をもてるようになりました。さらに水産物が生み出す価値や海の恵みに感謝する気持ちを学ぶきっかけにもなりました。こどもたちだけでなく、保護者もわくわくするような、芦屋町ならではの心に残る活動にすることができました。

今後も、わくわくする様な体験研修を企画していきたいと思えます。



ボランティア活動団体の紹介

◆障がい者YYくらぶ

「YYくらぶ」は、その人が持つ特性を活かしながら、さまざまな体験を通して、地域に根ざした、充実した生活を送り、心豊かな人になってほしいという想いから活動を始めました。現在、毎週2回遠賀川の河川敷でごみ集めをしています。特に車からポイ捨てをする人が後を絶たず、心を痛めています。

「その手から落ちたのはゴミですか？良心やマナーまでは捨てないで！」ずっと誇れるきれいな町の実現に向けて、みんなで頑張っています。



手話ボランティア

「手ことば」で伝える
あなたの思いやり

「手話ボランティア」は、聴覚に障がいのある人たちとの大切な「言葉の橋渡し役」。社会的にも大きなニーズがあり、地域で活躍するボランティアの中でも重要な役割を担っています。

聴覚に障がいのある人は、日常生活の中で、買い物や病院の受付、地域の行事、災害時の避難情報など、「ちよつと伝えらる」、「ちよつと聞く」ができません。緊急車両のサイレンや、電話での連絡、こどもの声など、私たちが無意識に得ている情報が、実は届いていないことがあります。

そんなとき手話を使って情報を伝えるボランティアの存在は、安心や自立を支える大きな力になります。その活動は地域のイベントや講座の通訳支援や、聴覚障がい者の日常生活の支援など多岐にわたります。

当センターでは、手話ボランティア養成講座を予定しています。「手話をやってみたい」、「誰かの役に立ちたい」、そんな思いを大切に、あなたのその手が、地域の誰かにとって大きな支えになるかもしれません。まずその第一歩をとともに踏み出してみませんか？

おらせ

今年度の活動予定

- ◆ 9月6日（土）
「折り紙ボランティア講座」
- ◆ 11月12日（水）～
26日（水）
「クラフトマーケット」
- ◆ 令和8年3月28日（土）
「手話ボランティア講座」



★各種団体活動（見学できます。詳細はお問い合わせください）

■福祉支援

- ・ 芦屋町手話の会（水 19:00）
- ・ ハーティネットあいあい
（視覚障がい者支援）（第1月 9:30）

■英会話

- ・ AEGC（木 10:00）

■手作り教室

- ・ すみれ会〈洋裁〉
（水 10:00）
- ・ さくら会〈洋裁〉
（水 13:00）
- ・ でんでんむし〈布絵本〉
（木 10:00）

☆編集後記☆

みなさん、お気づきになりましたか？。今年度より、HAMAYOUロゴを新しくしました。「Y」の文字に、人と人が支え合いながらつながっていくボランティア活動センターの理念を、支え合う両手とハートで表し、カラフルで明るいイメージのロゴを採用しました。（橋）